

## 平成25年「全国通信三田会秋季幹事会」報告書

### 1 会の報告

- (1) 会員数（10月1日現在）23人（昨年24人）1人減
- (2) 東海合同通信三田会 9月28日 伊勢市 瀬戸田、森、小田、中本（広島慶應倶楽部）出席  
島根、岡山、広島交流会（予定） 11月5日（火）出雲市  
会報「宮島、みやじま」41号 6月発行、12月 42号（予定）、3月 43号（予定）

### 2 通信三田会活性化について（課題と対策、提案）

#### (1) 課題

塾員の首都圏一極集中で、地方は会員の自然減（高齢等による退会、新規入会者のゼロ、減少）が続き、会運営の苦労が毎回地方から報告され、通信三田会の課題になっている。

#### (2) 対策、提案

- (1) 会報の発行で会員の近況や塾の情報提供  
高齢や遠距離会員にも会の活動に参画、塾員情報等会員サービスを提供。
- (2) 近隣通信三田会、ブロック合同大会への参加  
単独では参加者が限定されるが、合同大会や近隣同志が連携すれば参加者も増え、活性化する。  
又、引受する幹事三田会も企画、運営することにより、会員の掘り起しが期待される。  
慶應倶楽部にはこのような行事はなく、通信の活動に魅力を感じている。慶應倶楽部会員にも参加を呼びかける。慶應倶楽部の中本幸三氏は山口の行事に2回、東海合同大会に参加、喜ばれている。
- (3) 全国幹事会、連合三田会への参加  
全国幹事会の懇親会と翌日の連合三田会に役員、幹事以外の塾員の参加を呼びかけてはどうか、特に役員以外の地方塾員には積極的に声をかけ、参加を呼び掛けることが必要。
- (4) 慶應倶楽部行事への参加  
通信三田会には入会しないが、慶應倶楽部には入会、行事に参加している通信塾員は多い。  
より多くの情報とKEIO人脈が得られる。

### 3 魅力ある会報紙づくり（参考）

読んでもらうことが大切、そのためにちょっとした工夫（気をつける）をする。

- (1) 分かり易い記事の書き方
  - ① 先ず結論を先に（結論を出し惜しみにない）、次に経過、最後に補足・・・逆三角形型
  - ② 3C ①Correct（正確）、②Concise（簡潔）、③Clear（明快）
- (2) 見栄えのするレイアウト
  - ①イラスト、写真を入れる。
  - ②記事を減らすこと。
  - ③記事や写真、見出しの配置の基本
    - ・X型 新聞の基本
    - ・T型 比較記事に最適
    - ・区画型 特集など、公平に載せる時
- (3) 見出しの付け方  
見出しは読んでもらえるかどうかの鍵になる、読みたい気分させる見出しを。